

『東京電力福島第一原子力発電所事故対策 みやぎ県民会議』設立趣意書

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災でお亡くなりになられた方々に対し、哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、宮城県の復興のため、各方面で御尽力いただいております関係者の皆様方に、心より敬意と感謝の意を表します。

さて、この度の震災による東京電力福島第一原子力発電所事故により、稲わらが汚染され県産牛が出荷停止に追い込まれるなど、放射性物質の影響が広範囲に及び、深刻になりつつあります。

また、環境モニタリング等の継続はもちろんのこと、県内における放射線・放射能に対する監視・測定体制の一層の充実が求められているとともに、風評被害や除染対策等の拡充を求める声が高まってきています。

このような状況の下、県といたしましては、県民一丸となって東京電力福島第一原子力発電所事故の対応にあたる必要があると考えており、県内の産業界や消費者団体、有識者、県・市町村などで構成する「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」を設立することといたしました。

この県民会議では、すべての主体がそれぞれの立場で東京電力福島第一原子力発電所事故の対策に取り組むとともに、専門家等を含めた参加者間での総合的な対策の検討や情報提供・情報共有などを通じ、原発事故へのきめ細かな対応につなげていきたいと考えております。

宮城県の復興につながる「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」の趣旨に御賛同いただき、多くの皆様の御参加と御協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

平成23年9月12日

「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」
設立呼びかけ人

宮城県知事

村井 嘉浩